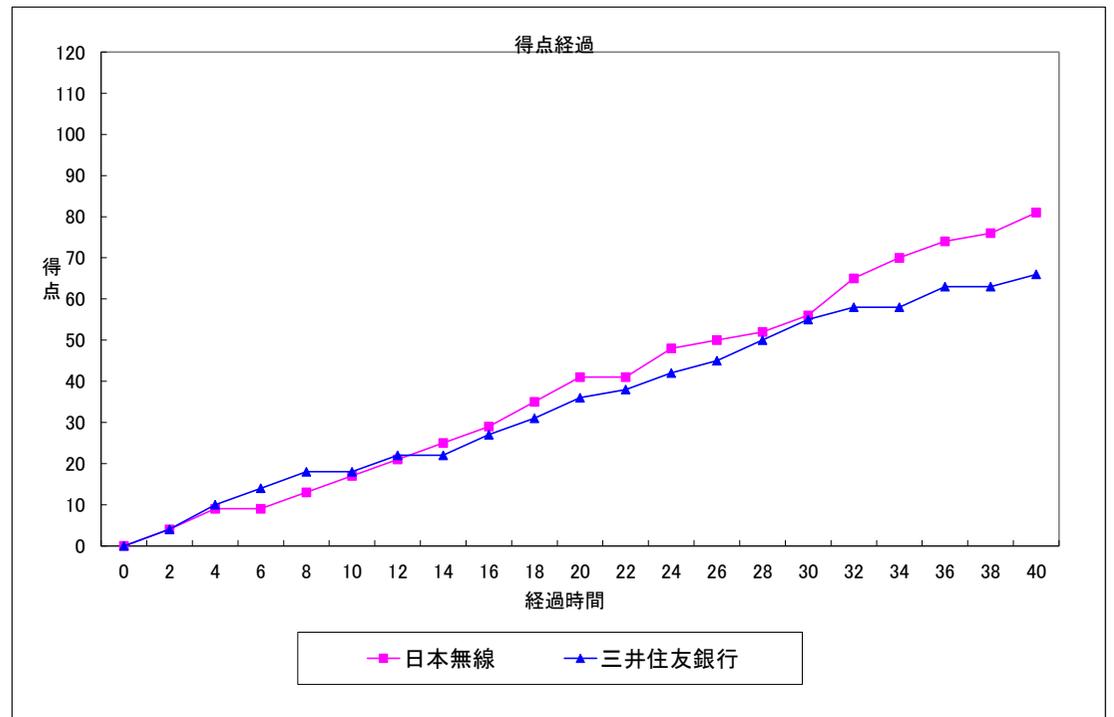


第7回 全日本社会人バスケットボール選手権大会

競技結果																												
実1・関東		日本無線 81 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>17</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>					17	-	18	24	-	18	15	-	19	25	-	11	-	-	-	実3・関東		66 三井住友銀行				
17	-	18																										
24	-	18																										
15	-	19																										
25	-	11																										
-	-	-																										
連盟		1	2	実1・関東			連盟	25	26	実3・関東																		
チーム名		日本無線					チーム名		三井住友銀行																			
部長		土田隆平					部長		森川郁彦																			
顧問		荒 健次					顧問																					
監督		赤城 浩					監督		中井敏昭																			
H・コーチ							H・コーチ																					
コーチ		箱崎雅俊					コーチ		黒木 健																			
A・コーチ		小野 豊					A・コーチ		北郷慎太郎																			
主務・副主務							主務・副主務																					
マネジャー		中村千里					マネジャー		光野孝俊																			
トレーナー		渡邊由紀					トレーナー																					
選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF	選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF															
福田大祐	1	9	2	1	1	3	青木崇記	0	4	0	2	0	1															
福田侑介	2	14	0	7	0	2	黒木 健	1																				
会川剛史	3	7	0	3	1	0	岡部智博	2																				
鈴木伸之	6	18	4	3	0	1	菊池 大	4																				
松林弘祐	7						吉永光宏	13																				
小林純也	9	5	0	2	1	0	鈴木敏嵩	16	7	1	2	0	3															
鈴木裕也	22						西中大史	19	8	0	3	2	2															
尾崎智則	25	0	0	0	0	0	井関慎平	21	5	1	1	0	0															
箱崎雅俊	26						原田修太	23																				
小野 豊	27						阿藤康貴	27																				
福山慎也	28						大石雅史	28	0	0	0	0	1															
樋渡大樹	34	9	0	4	1	2	佐藤基一	31	25	2	5	9	2															
山本修二	49	18	0	8	2	1	田嶋正幸	32	0	0	0	0	0															
鎌田晃輔	58	1	0	0	1	0	木村 理	34	6	0	3	0	4															
上野 学	72						中島悠太	37																				
							新垣昌彦	51																				
							清水 洋	81	3	1	0	0	3															
							小松昌弘	92	8	0	3	2	2															
合計		81	6	28	7	9	合計		66	5	19	13	18															

記録:富山県バスケットボール協会



戦評

両チーム共マンツーマンディフェンスでゲームが始まった。立上り、日本無線は#49のゴール下での1対1のプレーで得点をし、三井住友は速攻で得点を決めるというパターンで得点を重ねた。途中日本無線のボール回しが止まってしまい攻撃が短調となって得点が出来ない時も見られたが第1Qの終了間際、セットオフェンスが機能をして18-17の三井住友リードで第1Q終了。

第2Qに入って今度は日本無線に速攻が見られる様になりアウトサイド、インサイドのリズムのよい展開が多く見られる様になった。三井住友は体力的に走れなくなる場面も見られたが、粘り強くゴール下で決め41-36の日本無線リードで前半が終了。

第3Q、日本無線の速攻がさらに目立つようになったが、フリースローを4本連続で外すなど、なかなかリズムに乗り切れない。逆に、三井住友は3スローなど確実に3本共決める等、地道に得点を重ねた。第3Qは56-55の1点差で日本無線リードで終了した。

第4Q開始3分、日本無線#16が3本の3点シュートを決める等アウトサイドシュートの確実さが高くなった。逆に三井住友はアウトサイド、インサイド共シュートは打っているがなかなか決まらない。この1分間で12点差が開き勝負がついた。最終的に、運動量とシュート力に勝った日本無線の上手さが目立った。